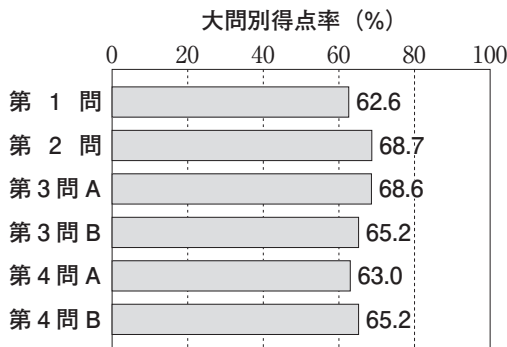
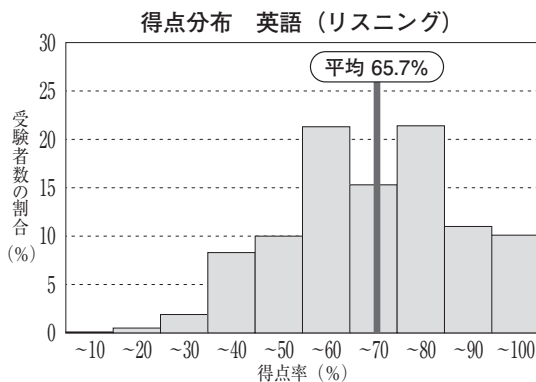


# 英語 (リスニング)

様々なタイプの英文音声を聞き，対応力を高めよう。

## I. 全体講評

今回の受験学年の平均得点は32.9点で，得点分布は下のグラフのようになっている。全体の得点率に換算すると約65.7%で，非常によくできていた。大問別に見ると，最高が第2問の68.7%，最低が第1問の62.6%であった。これを見てもわかるように，大問間の出来の差が非常に小さく，高いレベルで安定していたことがわかる。一般的には，後半の長い文章になると，苦戦は免れないところだが，最後まで60%台の得点率をキープしたことは高く評価できるだろう。もちろん，人それぞれ苦手とするパートがあるかもしれない。正解を得られなかった問題については，各自で解説を参照しながら，つまづいた理由をはっきりさせておくようにしよう。



## II. 大問別分析

### 第1問 対話の聞き取り(数値・語句・イラスト選択) 単純に見える問題にもトリックがある!

第1問の得点率は62.6%で，かなりよくできていた。個別の正答率を見ると，30%台と40%台の小問が1つずつあったが，他はいずれも60~90%台と好成績だった。今回の場合，問3の正答率が最も低かったわけであるが，これは曜日を答える問題であった。数値に関わる問題ではないが，曜日の聞き取りや日数の経過という要素が加わると紛らわしくなる。ここでは，読書の課題を終える日を the day before the class on Friday (金曜日の授業の前日) としているので，③の「木曜日に」が正解となるわけだが，過半数の人が④の「金曜日に」を選んでいった。これは本文の最後に聞こえた Friday に単純につられた結果であろう。今後のためにも the day before [after] ~ (～の前[後]の日) という表現には注意が必要である。

### 第2問 対話の聞き取り(応答文選択)

#### 自然な対話の流れを予想しよう!

第2問の得点率は68.7%で，すべての大問の中で最高の成績だった。この大問は短い対話文ながら，時にはかなり難しいケースがあるので，標準レベルではこのように着実に得点することが重要である。小問別の正答率では40%台が1問あったほかは，50%台から90%近くまで及んでいた。唯一40%台にとどまったのが問7である。青いセーターばかりを好む女性に対し，男性が③「違うものを試すべきだ」と答える場面だが，正解者を上回る数の人が①「僕もあれらの色が好きだ」を選んでいった。話題は青という一色なので，①の those colors ではかみ合わない。また，男性が「どうしてそんなにたくさん青いセーターを持っているの?」と言った時点で，女性の好みの偏りを示唆していることに気づけば，後の展開が予想しやすかったと思われる。

### 第3問A 対話の聞き取り(質問に対する答えの選択) キーワードをしっかりとつかもう!

第3問Aの得点率は68.6%で、第2問に次ぐ好成绩であった。小問ごとの正答率を見ると、40%台、70%台、80%台が1問ずつである。40%台というのは最後の小問で、不出来というわけではないが、誤答が偏っていたので、念のため確認しておこう。よく見られる出題パターンだが、ここでは対話が行われている場所を問うている。解説にもあるように、「タイトル」、「インターネットで注文」、「棚」などのキーワードから、②「書店で」が最適となる。ところが、④「映画館で」を選んだ人が3割ほどいた。「タイトル」という1語のために引っかかったようだが、他のヒントにも注意が欲しかった。

### 第3問B 長めの対話の聞き取り 冒頭から集中して聞き取るようにしましょう!

第3問Bの得点率は65.2%と、これもよくできていた。小問別正答率の内訳を見ても、50%台半ばから70%台半ばに及び、バランスもよくとれていた。今後もこの調子で安定した成績を残してほしい。ここでは対話の長さも一気に長くなるので、聞きながら理解するスピードが求められる。要所ではメモをとるなどの工夫も必要であろう。今回間違えた箇所については、どこに原因があったかを各自で突き詰めてほしい。そして、この問題形式に十分習熟し、できれば今回のように安定した得点源にしてほしい。

### 第4問A 長めの文章の聞き取り 語句だけではなく、全体の主旨をとらえよう!

今回の第4問Aの得点率は63.0%で、やはり平均以上の成績であった。小問別の正答率を見ると、40%台、60%台、70%台がそれぞれ1問ずつあった。40%台に終わったのは最後の小問の間22であるが、ここでは誤答が1つに集中していた。カフェインの過剰摂取による弊害を問うているが、最終段落の内容から、正解は③「目の病気にかかる危険性の増加」となる。結果を見ると、④「ガンの危険性の増加」を選んだ人が35%以上いた。これは直前のパラグラフの最後に使われたcancerという単語を聞き取っての選択だろうが、ガンについてはむしろ「危険性の低下」を指摘しているので、反対の主

旨である。一般的に言って、ここは現行のセンター試験のリスニング問題では最も難しい箇所と言える。今回満足のいく成績を取れなかった人は、今後トレーニングを積みながら、対応力を高めていてもらいたい。

### 第4問B 長めの会話の聞き取り 最後まで集中し、この調子を維持しよう!

第4問Bの得点率は65.2%とよくできていた。前回と比べても、大きく伸びている。小問別の正答率を見ると、50%台、60%台、70%台がそれぞれ1問ずつだったが、第4問Aのように誤答が偏ることもなく、特筆すべき反省材料はない。ハードルの高い大問で安定した得点力を示しているのは高く評価してよいだろう。ただし、最後になって長い英文を聞き取らなければならないという条件の厳しさは変わらない。今後のトレーニングを続ける中で、問題に慣れるとともに、ここ一番という時に求められる集中力を養ってほしい。

## Ⅲ. 学習アドバイス

### ◆英語の音に耳を慣らそう!

リスニング力向上の基礎はまず耳慣らしであるということは前回指摘したとおりである。今回はこの点についてももう少し具体的に補足しておこう。たとえば、Can I help you?という言葉をおつうに読み上げた場合、その音に近いカタカナで表記してみると、「キャナイヘウプユー」などとなり、Wait a minute.なら「ウェイラメネ」などであろう。このように、個別に取り出された単語の発音とは異なり、文単位の発音では、音の連続によって新たな音が生じたり、子音などが脱落したりする現象が多く見られる。また、ネイティブ音声などで聞き取り練習をする際に読み上げ原稿と比べてみるとわかるが、冠詞・代名詞・前置詞などのいわゆる機能語は、ごく軽く発音されるために音がほとんど聞こえないことも多い。これらが、英語の聞き取りを難しくしている最大の理由の1つである。したがって、会話や文章の聞き取り能力を高めるためには、こうした英語の音声上のルールに慣れることが不可欠である。それには音を聞きながら、読み上げ原稿をチェックすることも実践するようにしたい。